

【活動報告】クラーク記念国際高等学校横浜キャンパスで
出前授業を実施しました



TRI ツナグ働き方研究所
TSUNAGU work style Research Institute

ツナググループのシンクタンクとして、調査・研究を行っています。

ツナグ働き方研究所は、多様な働き方と労働市場基盤整備を目的に変化する労働法制を分析し、企業に役立つ解説と提言を使命とするシンクタンクです。



ツナグ働き方研究所について

ツナググループを母体とする「多様な働き方」の調査研究機関（2015年設立）。研究所では、企業人事や労働法制の分野で活躍する識者らとともに、施行される労働法制の要所と着眼点を解説していくほか、改正に至るまでの経過や背景も記録・分析しながら「あるべき姿」を提言。「働く」を取り巻くあらゆる労働法制の調査・研究機関として「雇用の未来」を拓きます。

ツナググループ・ホールディングス 概要

日本の社会課題である「2030年労働需給GAP解消」を目指す、ソリューションカンパニーであるツナググループは、コンサルティング×RPO(採用代行)×データベースを基軸事業として、従業員1,000名を超える大手企業を中心にあらゆるソリューションを提供しております。



【略歴】ツナグ働き方研究所 所長 大野 博司

労政ジャーナリスト

兼 アドバンスニュース代表取締役（主筆）

1970年、青森県出身。中央大学大学院戦略経営研究科（MBA）修士。

1994年、日本新聞協会加盟の地方紙に入社。社会部と政経部で教育、スポーツ、水産、港湾物流などを担当し、2004年に報道デスクに就任。2005年に東京支社で国会取材兼論説委員。海外取材は韓国、中国、オーストラリアなど訪問。このほか、2006年のイタリア・トリノ五輪の現地取材を担当。2009年に人材ビジネス系月刊誌の編集部長に就任。2010年にインターネット報道を主体とする雇用労働の専門媒体・株式会社アドバンスニュース（日本インターネット報道協会加盟）の設立に参画し、現職は代表取締役（主筆）。

日本外国特派員協会会員の労政ジャーナリストとしてHR系雑誌に執筆・寄稿しているほか、NHKラジオ「Nらじ」やFMラジオ「J wave」などに出演して多様な働き方、地方の労働力、外国人就労などをテーマに解説。2013年はアメリカ・フロリダ州の雇用問題取材、2014年はオランダ政府招聘による欧州の雇用・労働関係取材、2015年は中国の香港・広州、2019年はベトナムをはじめアジアの雇用現場の現地取材に奔走。政治と省庁、人材ビジネスの最前線で先行取材をこなす。

出版

『派遣法・抜本改正の爪痕（キロク） 報道現場からの真実の叫び-淘汰と再編が加速する人材業界』（2016年アドバンスニュース）

『実務詳解 職業安定法（共著）』（2023年 弘文堂）



●定期発表レポート

月次労働市場データレポート

月次有効求人倍率速報

スポットワークマーケットレポート

●代表的なセミナー/出版活動

セミナー

『人材サービス事業を後押しする労働法制と業界地図
～派遣法見直しの舞台裏・労政審「同一部会」佳境へ～』
『派遣法2025 人材サービスを巡る「数字」と「法制」
～報道現場から解析する次なる展開と要所～』
『障害者雇用を巡る2027年の法制とメディアの姿～
事業者団体の意義と存在価値の考察～』

●取材・出演

NHK「Nらじ」 テーマ：スポットワークの広がり

FM「J wave」 テーマ：アルムナイについて

テレビ東京 テーマ：オフピーク定期券について

星野高等学校（埼玉県） テーマ：多様な働き方を考える



TRI ツナグ働き方研究所
TSUNAGU work style Research Institute

クラーク記念国際高等学校横浜キャンパスで出前授業を実施

ツナグ働き方研究所とツナググループ・ホールディングスは9月4日、神奈川県横浜市にあるクラーク記念国際高等学校横浜キャンパスを訪問。「スポットワークから考える“仕事”とは～仕事×自分を考え、将来の職業選択に」と題して、2年生50人を対象に出前授業を実施しました。授業は、第一部「スポットワーク」から読み解く“仕事”、第二部「仕事理解」ワークの実践、第三部「自己理解」ワークの実践の3部構成で行いました。



クラーク記念国際高校横浜キャンパス（神奈川県横浜市）

出前授業の様子（第一部・第二部）

第一部は所長の大野博司が担当し、「スポットワーク」を切り口に多様な働き方の広がり进行解説。自身の仕事の歩みも紹介しながら「仕事観」を一緒に考えました。

第二部は人事企画部の飯国ゆかりが登壇。生徒にアルバイト探しを实践してもらい、「なぜその仕事を選んだか」などをグループ内で共有しました。

▼第一部の様子



▼第二部の様子



出前授業の様子（第三部）

第三部は、同じく人事企画部の渡邊健大が務め、自分を振り返るシートを用いたワークを展開。これまでの人生において、やる気が上がった出来事も、下がった出来事も自分の“仕事選びの軸”において大切な経験となり、「自分が大事にしていること」を知ることは迷った時に“決定”の方向性を導いてくれる――と伝えました。

▼第三部(講義)



▼第三部(ワーク)



担当教諭からいただいた感想

担当教諭からは、下記の感想をいただきました。

貴重なお話をきかせていただき、生徒たちにメッセージをお伝えいただいたり、皆様自身のことを語っていただいたり、いろいろとお声がけいただいたりと、感謝しております。皆様のおかげで生徒たちにとって貴重な時間となりました。

ワークでは、一部、二部からの流れを受け、それぞれがそれぞれのレイヤーで自分のことを振り返り考えている様子がみられ、それぞれに心動かせたり、気づける時間があったのではないかと思います。ワーク中に、普段にはなかなかきけない言葉などもきくことができ、まだ知らない顔に出会うことができたようにも感じます。

ー クラーク記念国際高等学校横浜キャンパス 担当教諭



参加した生徒からのコメント

参加した生徒からは、授業を終えて下記のコメントが寄せられました。

時代によって働き方やそのための手段は変化していると知った。

自分の中で見ないふりをしていた中学時代を振り返るいい機会になりました。そして、自分の中の一番大事なことが見えてきたような気がします。

将来の仕事について学ぶ機会が得られてよかったです。この機会を活かし将来に繋げていきたいと思います。

バイトはしているけど自分のことについて自分で考えたことがなかったから今日の授業が貴重なものになったし、すごくためになった。

クラーク記念国際高等学校 横浜キャンパス

概要：クラーク記念国際高等学校は、広域通信制・単位制の高等学校。全国のキャンパスで、生徒一人ひとりの目標に合わせた学びを展開している。横浜キャンパスは神奈川県横浜市に所在。

HP : <https://www.clark.ed.jp/>



夢・挑戦・達成

学校法人
創志学園

クラーク記念国際高等学校

多様な働き方の広がりの中で変化する労働法制を分析し、役立つ提言と解説を発信している「ツナグ働き方研究所」では、これからの社会を担う大学生や高校生たちの活動を応援・サポートする取り組みを展開していきます。



TRI ツナグ働き方研究所
TSUNAGU work style Research Institute

